

白黒ダブルマルチ導入でキャベツ収量アップ！

【平成 28 年 11 月 28 日掲載】

広島市安佐南区沼田町吉山の(農)よしやま(高田進(たかたすすむ)組合長, 組合員 83 名)で, 白黒ダブルマルチを活用したキャベツ実証圃の収穫が始まりました。

当法人では, これまで黒マルチを活用したキャベツ栽培(約 40 a)を行ってきましたが, 定植後の高温で苗が枯れ, 安定した生産ができていませんでした。

このため, 今年度は, 新たに地温を下げる白黒ダブルマルチを使った実証圃(5 a: 品種 輝吉, 湖月 SP)を設置しました。8 月 20 日の定植後, 高温が続きましたが, 白黒ダブルマルチの苗は全く枯れずに出荷に最適な 1.5 kg / 玉まで順調に生育し, 11 月 11 日に初収穫を迎えることができました。収穫したキャベツ(約 2 t, 10 a 当たりに換算した収穫量は 4 t)は広島市内の加工業者に出荷されています。

高田組合長は, 「白黒ダブルマルチの生育が良かった。来年度はキャベツの面積を 60 a まで増やしたい。」と面積拡大に意欲的です。西部農業技術指導所では, 今年度の実証圃の結果から成果とコスト面の課題を整理した上で, 法人役員会で報告する予定です。



【実証圃の様子】

(左: 定植後 17 日目, 右: 定植後 76 日目)